

同志社大学 一神教学際研究センター 公開シンポジウム
「巨人」の場^{トボス}

2021年11月6日(土) 14:00-17:15
オンライン (ZOOM platform)

<主旨>

「巨人」は目を引く。ゲームのキャラクター、アニメ作品、映画作品、直近では東京オリンピックの巨人アドバルーン等々、巷に「巨人」はあふれている。そして、古今東西、様々な文化、文学、宗教伝統の中に、多彩な「巨人」伝承が存在する。本シンポジウムでは、一神教伝統における「巨人」を碑文、写本テキスト、美術表象他を通して多角的に分析し、その役割や地理的場所も含めた立ち位置を「巨人」の「場」^{トボス}として検証する。えてして、異なるもの・威なるものとされてきた「巨人」と「ワタシタチ」の関係はいかなるものか？ それはまた、世界の多様性について考える試みでもある。

プログラム

14:00-14:05 開会の辞・主旨説明

第1部 (14:05-15:15)

<「巨人」を読む>

- 14:05-14:25 高井啓介(関東学院大学)
「rp'um からレファイムへーへブライ語聖書の「巨人」表象とそのイメージはどのようにして成立したのか」
- 14:30-14:50 勝又悦子 (同志社大学)
「内なる巨人としての『ゴーレム』ーミドラシュからカバラーへ」
- 14:55-15:15 大沼由布 (同志社大学)
「異形のカタログー西洋中世の百科事典的著作における巨人の記述」

ー休憩 10分ー

第2部 (15:25-16:35)

<「巨人」を見る>

- 15:25-15:45 林則仁 (龍谷大学)
「巨人のイメージーイスラーム写本絵画にみる巨大な身体を持つ図像」

15:50-16:10 山中由里子(国立民族学博物館) **キャンセル**

「巨人の名残り―遺物をめぐる中世イスラーム世界の驚異譚と巨人」

15:50-16:10 岡本広毅(立命館大学)

「中世ブリテン建国史における巨人族とストーンヘンジ建立―マーリン、記念碑、コロニアルな歴史」

16:15-16:35 コメンテーター 黒川正剛(太成学院大学)

「西洋中・近世における巨人表象とイメージ―聖人・野人・パタゴニア人」

―休憩 10分―

コメント・質疑応答(16:45-17:15)

16:45-17:15 質疑応答

<発表者>

高井啓介 (関東学院大学国際文化学部比較文化学科・准教授)

勝又悦子 (同志社大学神学部・教授)

大沼由布 (同志社大学文学部英文学科・教授)

林則仁 (龍谷大学国際学部国際文化学科・准教授)

山中由里子(国立民族学博物館学術資源研究開発センター・教授) **(欠席)**

岡本広毅 (立命館大学文学部国際コミュニケーション学域・准教授)

<コメンテーター>

黒川正剛 (太成学院大学人間学部・教授)



高井啓介



勝又悦子



大沼由布



林則仁



岡本広毅



山中由里子



黒川正剛

本シンポジウムは以下の助成を受けるものである

* 科学研究費基盤 C 「創造の業」の系譜―ユダヤ教における「自由」と「偶像」の総合的研究
(研究代表者:勝又悦子、研究課題番号 20K00083)

* 科学研究費基盤 C 「ヨーロッパ中世における博物学的知識の伝承―中東及び古代・近世との関わり」(研究代表者:大沼由布、研究課題番号 17K02522)